

知事公約である学校給食費無償化の新年度より実現を求めるとの要請決議（案）

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、世界情勢や円安等による物価高騰が家計を直撃しております。

この状況に鑑み、各市においては、子育て世帯の負担軽減のため、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金等を活用し、給食食材高騰への対応や給食費無償化等の緊急処置を実施しているところである。

一方、各市では、令和5年度予算編成が大詰めを迎えるなか、自治体独自で事業を継続するには財政的負担が大きく、令和5年度以降の国の交付金等の動向も不透明であることから、財源の確保にも苦慮しているところであります。

このままでは事業継続にも限界があり、各自治体の財政状況によっては、保護者の負担に地域間格差が生じることが懸念されてます。

そのような中、子育て世帯にとりましては、玉城知事の掲げる「学校給食費無償化」の公約は、まさに切実な願いであり、早期の実現に大きな期待が寄せられております。

子育て支援に地域間格差が生じる事なく、かつ安定した学校給食が受けられるよう、全額県費負担による学校給食費無償化の、一刻も早い公約を実現されるよう強く要望する。

以上決議する

令和5年2月7日

県市長会より、学校給食費無償化実現への要請書

財源の話なんだから、知事部局がどう考えるかだと思っていますよ。無償化に向けて市町村と協議が必要というところでこれから議論すると言っていますけれども、市町村の協議状況もろもろ含めて、これは知事公約をできないければ市町村がやってくたさいよ、知事は無償化できませんでしたから市町村が無償化にしてくださいよ、知事の押しつけになりませんか。知事、どうなりますか。

A 知事（玉城デニー）

給食の無償化に当たっては、各市町村でそれぞれ独自に工夫され、取組を進めておられるということを承知しております。ですから、それらの実施方法等の協議については市町村と綿密に協議を進めさせていただきたいと思っています。

Q 島袋大

市長会が知事に対して完全無償化をしてくれという要請をしています。隣の県都那覇市なんて、令和5年の1月からスタートとして、完全無償化。それで、令和5年の4月から6月までは、もう苦しいから牛乳のみの支援になるんですよ。無償化は、県がやってくれるからというところで、県都那覇市も動き出した。11市の首長の市長の皆さん方は要請しているんですよ。知事は、お金の見直しもないから国にお願いしますと言っているんですよ。予算があるから、こう使うから無償化にするという政策の下で各市町村長と連携してやろうというのが、これが無償化に対する議論だと思っていますよ。選挙戦でいきなり公約を掲げるもんだから、苦しくなるわけですね。知事、これはいつから学校給食を無償化にするか、私は県民に示すべきだと思います。

ていすがいかがですか。

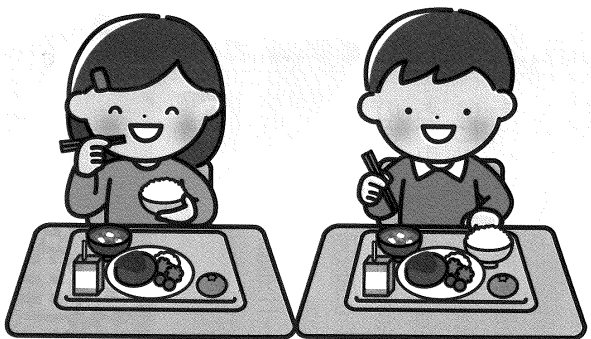
A 知事（玉城デニー）

実施方法、実施時期について、市町村や関係機関と協議を踏まえた上でお示しをさせていただきます。

Q 島袋大

選挙期間中に言った学校給食の無償化が玉城デニー知事の公約の二丁目一番地だと思っています。だからこそ、財源があるからいつからスタートする。子どもたちはわくわくしているんですよ、いつからできますかと。親もそう思っていますよ。だからこそ、こういった約束はちゃんと守らないといけないですよ。

給食費無償化については、県がどういった形で明確な確な話もない中で、子どもたちにとっては、これからすくすくと育つためには重要な問題ですから、早めに完全無償化をお願いしたい。



**玉城デニー知事の選挙公約「給食費の無償化」
全くやる気なし。調査、調査だけで、県内市町村
は大変だ。11市長会より「早急に県は責任を持って
給食費無償化をして欲しい」との要請を受けても
玉城デニー知事はスルー…。給食費無償化実施
スタートするまで私は何度でも、何度でも、議会
で議論していきます。約束は、守りましょう!!**

シユワフブ視察・久辺3区との意見交換

- ・キャンプシユワフブ内の現況確認
- ・久辺3区(久志、辺野古、豊原)地域の方々との意見交換
- ・ギンバル訓練場跡地視察
- ・KINサンライズビーチ視察



現地視察・意見交換を終えて

辺野古普天間飛行場代替施設を視察しました。

普天間飛行場の早期閉鎖のための施設であり、急ヒッチに工事が進んでいました。

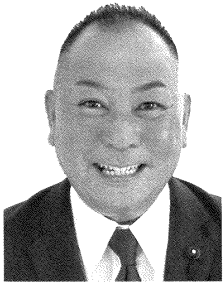
久辺3区地区の皆さん、久志、辺野古、豊原の方々との意見交換、生の声を聞いてくれただけ翁長県政から玉城県政は、県がやるべき仕事を放棄しているのがハッキリとわかりました。

金武町では、基地返還後の街創り、ベースボールパークやサッカー場、スポーツリハビリ医療機関

成果と所見

ビーチやホテル素晴らしい施設が出来、新しいビジネスが生まれていると感じました。

やはり、現場の声を聞き、現場を見る、政治は結果しかないの
で、現場からのメリットやデメリットを議会の場から、提案したいと思います。



島袋 大

台湾への視察

今回の台湾視察のテーマは、台湾と沖縄の経済及び観光の相互交流を更に発展させる為、そして東アジアの平和維持と台湾海峡の有事に対する台湾の考え方と取組みについて意見交換をすることであった。



視察 宮古・八重山における海保の活動状況

今回の視察は、沖縄本島、宮古、八重山を担任水域に収める第11管区海上保安部の活動状況をつぶさに視察することで、海上の安全と安心がどのように確保されるのか理解するために行われた。



ハワイの観光関連産業と県人会の皆さんの声を聞いた!

ハワイの視察を行いました。沖縄県と似ていて観光産業を中心とした経済圏であり、これからの沖縄の観光産業をV字回復するためにはどうするべきか考えなければなりません。

ハワイが自然環境問題やSDGsも含めて新しい観光を目指しているのを見ると、沖縄でも自然環境問題やSDGsをもっと取り入れた仕組みをつくらないといけないと思いました。ダイビング業やシュノーケリングなどのマリンスポーツをどのように沖縄で指導していくのか、また世界から選ばれる観光地としてインフラ整備は重要な課題ですが、沖縄県には現在観光客がイメージするリゾート感のあるマリナは無く、廃車や廃船が放置され、駐車スペース・トイレ・シャワールームの設備もない状態の中、観光客を受け入れている状況であります。今回ハワイを視察、意見交換をして沖縄県で早急に整備や指導が出来るように沖縄県へ要請していきたいと思っております。

ハワイの沖縄県人会においては、昨年10月に行った世界のウチナンチュ大会へご参加いただいたお礼をかねて意見交換をさせていただきました。県人会の皆さんとの今年9月開催予定ハワイでの沖縄フェスタについて、また、2025年のハワイ沖縄県人会125周年についての意見交換も行いました。

ハワイ沖縄の歴史伝統文化経済交流をするために沖縄から、盛り上げないといけないと思いましたが、素晴らしい経験の出来た視察でした。ハワイのウチナンチュ、県人会も頑張っています。しっかりと議会や委員会に取り上げて課題解決に向けていきたいと思っております。



シュノーケリング、ダイビングする場所、珊瑚礁の状況説明を受ける



伊福さん(具志頭村出身)がオーナーのドライブインで意見交換



グレン上院議員(母親が石川市出身)と観光について意見交換



沖縄県議会 沖縄・自民党

令和5年3月 特別号

要請 沖縄観光の 早期復興へ!!

沖縄ツーリズム産業団体協議会と沖縄県観光協会等協議会より、沖縄観光の早期復興についての要請を請けました。

観光客数が回復基調に転じたが、3年間のプランクにより失った人材や資産による経営不振は以前として厳しい。観光業は沖縄県の基幹産業の為、雇用や経済に大きな影響を与えている。

令和2年に県議会は自民党主導による議員発議で観光再興条例をつくり、コロナ禍の影響を受けた観光産業の再興の為の根拠を造り取り組んできた。

今回の要請は観光産業をコロナ禍以前のレベルに戻し、更に発展させる為に経営支援を含む弛みのない支援を続ける様に、沖縄県に求めて行く事を確認した。

要請 航空自衛隊宮古島分屯基地開庁記念行事におけるブルーインパルスの展示飛行に伴う

宮古青年4団体連絡協議会(代表幹事・具志堅貴昭氏)より12月11日の宮古島分屯基地開庁記念行事であるブルーインパルスの展示飛行に関する要請を頂きました。

要請書

沖縄・自民党会派を代表して(写真右より)下地康教、島袋大、座波一、花城大輔が要請書を受け取りました。
我が会派はこれからも離島振興ならびに安全保障体制の構築について全力で取り組んでまいります。

令和4年10月吉日

沖縄自民党会派 会派長 島袋 大 様

宮古青年4団体連絡協議会
代表幹事 具志堅 貴昭

航空自衛隊宮古島分屯基地開庁記念行事におけるブルーインパルスの展示飛行に伴う要請について

初秋の候、貴席におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
日頃より、沖縄県発展のためご尽力されるとともに、我々若者や青年団体の活動に対しご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。
さて、来る12月11日の宮古島分屯基地開庁50周年記念行事に伴い、航空自衛隊のブルーインパルスの展示飛行が決定しております。ブルーインパルスは平和の祭典東京五輪にて展示飛行を行い、多くの国民に勇気と笑顔を与えたことは記憶に新しいこととあります。そのブルーインパルスの展示飛行を一目見ようと、島内外から多くの観客が展示会場に集まることが見込まれています。そのため、この機会は宮古島におけるコロナ後の経済復興、とりわけ観光振興を図るうえで大きな原動力になるとともに、更なる宮古島の発展を後押ししてくれるものだと考えております。
また、宮古島の下地島空港から離発着することができれば、曲技飛行を含めた様々な演目を披露してもらうことが可能となるため、更なる効果が期待できるものと考えております。そのためには空港を管理する沖縄県のご協力は不可欠であります。
つきましては、観客にブルーインパルスの曲技飛行をより楽しんで頂くため、宮古島市にある下地島空港で離発着するための取り計らいへのご協力を要望致します。
沖縄島の離島では初めてブルーインパルスが飛行するという絶好の機会を有効に活用し、新型コロナウイルスにより大きな痛手を受けた宮古島経済の復興を加速させ、また、多くの市民に心から楽しんでもらうため何卒、格別なご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

16 17 18 19 20 21 22 26
25 26 27 28 29 31



